

ごあいさつ



会 長 井 上 悦 子

2021年もすでに3月を迎えましたが、日本小児はり学会は昨年2020年9月より2021年8月末までは2020年度として活動してまいります。2020年度も2019年度と変わらず、会員のみなさまには学会活動にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

約1年前の2019年12月に中華人民共和国の武漢で発生した新型コロナウイルスは世界中で感染が拡大し、国内でも1回目の緊急事態宣言が発出され、2020年中に開催しました特別講習会・学術集会はZoomアプリを用いたオンラインで開催せざるを得なくなりました。事務局にとってオンライン開催そのものが不慣れであったため、不手際も多々あったことと思いますが、特別講習会、学術集会ともに、好評のうちに終えることができました。これもひとえに参加者ならびに講師のみなさまのご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。なお、コロナ禍のなか、やむを得ず開催したオンラインでの講習会・学術集会でしたがオンラインのメリットを多くの方々に感じていただけたのではないのでしょうか。ところが小児はりの手技の体験はオンラインでは叶いません。今後は感染予防対策を徹底しながら対面での開催もオンラインと併せて検討していきたいと考えています。

さて、本学会定款にもあるように日本小児はり学会の創設の目的は「小児はりの研究と普及」です。

小児はりの普及については、本学会創設以来の諸活動と会員のみなさまの活動のおかげで国内外に広く普及しつつあります。今後はもう一つの目的である小児はりの研究面での充実も一層図っていきたく存じます。その一環として昨年度にリニューアルしたホームページに今年度は会員専用ページを設け、主に学術関係の資料をアップしていく予定です。小児はりの臨床効果や機序に関する若手会員の方々の研究がさらに推進されていくことを願います。また、様々な小児はりの技法についても動画をアップし、それぞれの鍼具に合わせた技法やコツを紹介していきたいとも考えています。

また、本学会事業の企画はこれまで理事会で決定し、事務局でそのほとんどを実施してまいりましたが、新たに学術委員会と広報委員会を立ち上げ、企画・運営の業務を担っていただくことになりました。これらの委員会にご要望がありましたら事務局までお寄せください。

本学会が会員のみなさまの臨床・研究に一層役立つことを目指して、2020年度も引き続き、事業活動を進めてまいります。

会員のみなさまの益々のご活躍をこころよりお祈り申し上げ、2020年度のご挨拶とさせていただきます。